

# コミュニティ福祉学部教授会におけるペーパーレス会議システムの導入 (COSMOS : Comifuku Original Smooth Meeting Operation System)

立教大学 コミュニティ福祉学部スポーツウェルネス学科

教授 松尾哲矢

准教授 石渡貴之

## 1. システム導入に至った背景

学部開設以来、学科の新設などで学生増が続いた当学部では、「いかに学生一人ひとりを大事にしていく基盤を構築するか」が喫緊の課題となっていました。そのため積極的な情報活用に取り組み、掲示板で行っていた講義予定の連絡などをWeb上で閲覧できたり、学部から配信する重要情報をメールで確認できたりする仕組みを整えるなど、学生を第一に考えた施策を積極的に行ってきました。

加えて、当学部は福祉を専門に扱う学部。「人」にやさしくあることはもちろん、「環境」にも配慮した特色ある学部づくりを目指していました。こうした考えのもと、今回取り組んだのが教授会におけるペーパーレス化の実施です。当学部では教授会を月に2回、年間にして20回程度行っています。その参加者数は 約30名で、内容は人事から教務関連、各種委員会の報告まで多岐にわたります。そのため会議資料は膨大になりがちです。1回当たりの資料が1人につき150～200枚にも及ぶ会議となっていました。

この結果、多くの紙と印刷コスト、準備の作業負荷が掛かっていました。加えて、膨大な紙資料は実際の資料参照の際にも時間が掛かるなど、会議進行の遅延を引き起こしていたのです。これらの課題解決を図ることはもちろん、学生の指導的立場にある教授陣たちが、自ら率先して紙のムダ削減に取り組む姿勢を示すことは、教育的観点からも非常に意義のあることだと考えています。

そこでコミュニティ福祉学部では、教授会を始めとした諸会議での紙の節約および印刷などの準備に関わる手間の削減、そして会議資料の保管、検索の簡便化を目指してiPadを用いたペーパーレス会議システムの導入を考えました。

構想から約2年間の準備作業を経て、2012年4月、教授会において本システムの導入に成功し、このシステムの導入により年間110万円かかっているコピー代、紙代を節約すると共に、準備作業に関わる手間の軽減、会議資料の保管、検索の簡便化を達成することができました。

## 2. システム導入へのポイントと効果

ペーパーレス化促進のため導入したのが iPad で電子資料を共有できる会議ソリュー

ション「COSMOS」です。選定にあたってはメディアセンターのご協力の下、十数社の製品を比較・検討しました。最終的に「圧倒的な使いやすさ」が導入の決め手になりました。教授会は幅広い年齢層の参加者で構成され、ITリテラシーのレベルもさまざまです。誰もが使いこなせる直感的な操作性は導入時の必須条件でした。導入の結果、年間約110万円に上っていた印刷コストを削減できました。さらに、会議の効率化も大幅に促進され、長い時は3時間以上に及んだ教授会が、今では予定時間内(2時間)で終わることも少なくありません。その要因の1つは、COSMOSの同期機能です。会議発表者と参加者の画面がボタン1つで同期できるので、膨大な資料の中から該当箇所を探すというムダな時間を削減できました。

加えて、“モノクロ”の紙資料から、“カラー”のデジタルデータに移行したことで、視認性も高まっています。重要項目に色を付けるといった工夫により、一目で資料のポイントが掴めるようになりました。この結果、情報共有の時間も大幅に短縮しています。

現在は教授会のほか、カリキュラムの編成などを行う教務委員会でも活用しています。今後は、他の学部や学内の会議への活用はもちろん、授業への展開といった可能性も考えられます。

### 3. 大幅な業務負担軽減

会議の「前」と「後」、両方の負担が劇的に少なくなりました。まず、2時間半かけていた会議前の準備が、今ではたった30分で済むようになりました。参加者1人につき、150ページ以上に及んでいた会議資料は厚すぎて、複合機の自動ホチキス留め機能も使えず、手作業で行っていました。また会議資料とは別に持ち込まれる参考資料なども重なり、山となった資料の仕分けにも一苦勞でした。それが今では発表者からデータをメールで受け取りサーバ上へアップするだけになりました。資料に追加や変更があった場合もデータを差し替えるのみで終わりです。さらに会議後もこれまでは資料をすべてPDF化し、資料を文字検索できるようにして会議参加者へメール送信していましたが、今ではフォルダを作って、各参加者がダウンロードする形になったため、大幅な業務負荷軽減を実現しています。

### 4. システム運用管理の優位性

システム管理については導入当初からメディアセンターと連携し、多くのサポートを頂きました。今回、システム運用管理がシンプルな点が高評価につながりました。会議の内容は重要な機密事項です。システム担当者だからといって、保守人員として会議に参加することはできません。それゆえ、会議中にサポートを必要としないシンプルなシ

システムが必要でした。また、セキュリティも大きな懸案事項でした。特に会議資料を電子化するにあたって、最も心配したのが情報流出です。その点、COSMOS資料の閲覧期間の制限や必要に応じて一斉削除が行え、iPad 端末上にデータが残ることもないので安心して導入できました。

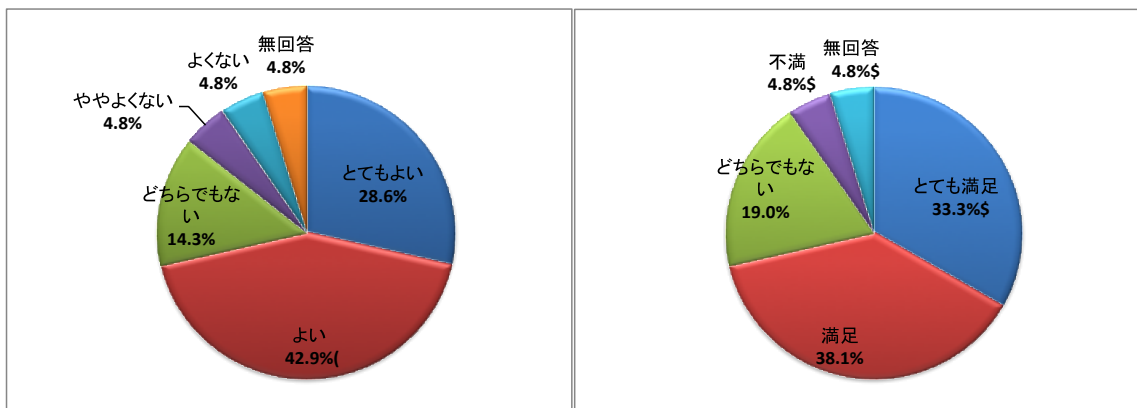
## 5. COSMOS 導入に関するアンケート結果

学部教授会メンバーにシステム端末(iPad)の操作性、満足度についてアンケート(N=21)を取ったところ、7割が満足しているという結果を得ています。また、会議時間が短縮したかどうかについては、8割が短縮したと感じており、総合評価においては8割5分が満足と回答しております。

これらの結果を受け、改めてCOSMOSを導入した効果を確認することができましたが、今後もより使いやすいシステムの構築をめざしていきたいと考えています。

最後にメディアセンターの皆様にはシステム導入検討の当初から親身にご協力頂き本当に感謝しております。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

システム端末(iPad)の操作性について □ システム端末(iPad)の満足度について □



会議時間は短縮したか □

総合評価 □

